

ガクの情コミ学際研究ラボ



テーマ
「暴力」

9/25^土
12:00-17:30

会場

ZOOM ウェビナー参加



「ガク」とは学と楽をあらわしています。

研究・勉強とは楽しいものである

という合い言葉のもと、

情報コミュニケーション学部では、

①社会の〈^{いま}現在〉を捉える

②多様で学際的なアプローチ

③創造と表現 を3つの柱として、

さまざまな専門分野の教員が研究を推進しています。

その最新成果を学際研究として

学部生・受験生、社会に公開するのが

「ガクの情コミ学際研究ラボ」です。

現代社会は戦争・紛争・テロだけではなく、日常的にも「暴力」があふれています。社会の〈^{いま}現在〉を捉えるためにはこの問題に向きあう必要があります。はたしてそれは現代社会固有の問題なのでしょうか、またそもそも人が暴力を行使するとは、社会との関係からどのような意味があるのでしょうか。そして「暴力」とはどのように語られ表象されているのでしょうか。われわれは、それを問いかけてみたいと思います。

I部 人・社会と暴力との関係

「人間にとっての暴力」

石川幹人 (認知心理学)

「社会変容と民衆暴力」

須田努 (歴史学)

「社会的な現象としての暴力」

宮本真也 (社会学)

II部 暴力をめぐる表象

「幕末・明治期の演劇に描かれた暴力」

日置貴之 (日本演劇研究)

「暴力として語られるイスラーム」

横田貴之 (多文化と相互理解 イスラーム)

「フランスメディアで語られる他者・暴力」

高馬京子 (地域文化論 フランス)

III部 総合討論



明治大学情報コミュニケーション学部
School of Information & Communication

